

まことに ゆ・た・かな心

横須賀市立ろう学校 中高等部通信 第9号

平成29年(2017年)8月28日

学部レク・全校レク

夏休み明け初日、全員登校して、夏休みの思い出を紹介してくれました。

24日に学部レクを行い、椅子取りゲームとフルーツバスケットを楽しみました。初めてのフルーツバスケットでは、わざと鬼になった人がいましたね。

25日の全校レク「トナカイのぬいぐるみ落とし」では司会、開会のことば、閉会のことばを務め、幼稚部・小学部のみんなに楽しんでもらえました。



夏休みの思い出



【M先生】

8月5日～7日、神奈川県聴覚障害者協会主催の『デフアドベンチャー』（2泊3日のキャンプ）に参加してきました。このキャンプは、聴覚障害のある幼児・児童・生徒と、手話のできる健聴の子どもたち、聴覚障害のある大人や手話のできる大人などといった参加者が100人以上で、盛り沢山な内容でした。場所は日本有数の避暑地・上高地かみこうちで、平均22度と涼しい所でした。1日目はスタンプラリー、野外炊事、2日目は明神ヶ池ハイク、星空観察、ケビン内で調理、最終日がレク、写生、そば打ち体験などといった、普段の生活では味わえないことを経験してきました。子どもたちも、すぐ仲良くなり、おにごっこか沢山外で遊んでいました。とてもいい企画でした。

【K先生】

中学1・3年生のときに担任をして、今はプロ野球選手になっている坂田 遼りょう選手が出場した2軍の試合を見に行きました。プロ入りしてからけがが多く、1軍と2軍を行ったり来たりですが、もともと1軍でクリーンアップ（3～5番打者）を打つ力があるので、その試合では3打数3安打1四球で、全打席出塁しました。試合後、「今日は元気な姿を見られて良かった。1軍に上がってほしいな」と声をかけましたが、「1軍…」は本人が一番強く思っていることなので、言わなければよかったかな、と反省しています。親心おやごころみたいなものですね。でも、現在は1軍の試合に出場していて、ヒットも打っています。

また、国会議事堂の近くにある国立国会図書館に行って、絶版ぜっばんとなっている40年くらい前の卓球小説『白球を叩け！』と『白球よ輝け！』を6時間くらいかけて読みました。『白球を叩け！』はインターハイ（全国高等学校総合体育大会）に出場した高知県立ろう学校の卓球部員がモデルで、『白球よ輝け！』は映画化されました（『きらめきの季節』）。なお、国立国会図書館を利用するには、登録してカードを作る必要があります（インターネットで登録でき、3年ごとに更新します）。